



2021年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年8月5日
上場取引所 東

上場会社名 住友ゴム工業株式会社
 コード番号 5110 URL <https://www.srigroup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 悟
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経理部長 (氏名) 大川 直記 TEL 078-265-3000
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 2021年9月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上収益		事業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	440,082	29.4	30,088	—	28,576	—	20,501	—	43,850	—
2020年12月期第2四半期	340,038	△20.8	△2,309	—	△2,974	—	△9,341	—	△36,426	—

（注）事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益	売上収益 事業利益率
	円 銭	円 銭	%
2021年12月期第2四半期	77.95	—	6.8
2020年12月期第2四半期	△35.52	—	△0.7

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第2四半期	1,016,049	502,128	488,226	48.1	1,856.39
2020年12月期	974,805	467,097	454,743	46.6	1,729.05

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期第2四半期	39,918	△26,448	△11,198	79,334
2020年12月期第2四半期	28,157	△25,448	28,272	88,341

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2021年12月期	—	25.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	30.00	55.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上収益		事業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	930,000	17.6	55,000	26.8	52,000	34.4	35,500	57.1	134.98

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年12月期2Q	263,043,057株	2020年12月期	263,043,057株
2021年12月期2Q	45,519株	2020年12月期	41,905株
2021年12月期2Q	262,999,698株	2020年12月期2Q	263,003,006株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く様々な要因の変化により、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

なお、上記予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率
	百万円	百万円	%
売上収益	340,038	440,082	29.4
タイヤ事業	290,845	369,289	27.0
スポーツ事業	29,829	51,439	72.4
産業品他事業	19,364	19,354	△0.1
事業利益又は 事業損失(△)	△2,309	30,088	—
タイヤ事業	△895	23,477	—
スポーツ事業	△2,902	5,518	—
産業品他事業	1,472	1,069	△27.3
調整額	16	24	—
営業利益又は 営業損失(△)	△2,974	28,576	—
親会社の所有者に 帰属する四半期利益又は 親会社の所有者に 帰属する四半期損失(△)	△9,341	20,501	—

(注) 事業利益又は事業損失(△)は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

為替レート的前提

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
1米ドル当たり	108円	108円	—円
1ユーロ当たり	119円	130円	11円

当第2四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)の世界経済は新型コロナウイルス感染症の影響により依然として不透明な状況にありますが、持ち直しの動きも見られました。

我が国経済においては個人消費は弱い動きとなっていますが、輸出は緩やかな増加が続いています。生産は回復してきており、雇用情勢は弱い動きの中にも雇用者数等の動きに底堅さも見られました。経済全体としては持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増しています。

当社グループを取り巻く情勢につきましては、為替の円安により輸出環境が改善したことに加え、米国や中国をはじめ多くの市場で回復基調となるなど明るい兆しも見えたものの、天然ゴム価格や石油系原材料価格の上昇、海上輸送コスト上昇の影響を受けています。

このような情勢のもと、当社グループは2025年を目標年度とした中期計画の実現に向けて経営基盤の強化を目指し全社プロジェクトを強力に推進するとともに、世界の主要市場に構築した製販拠点の効果の最大化をめざして各地の顧客ニーズに対応した高機能商品の開発・増販に取り組むなど、グローバル体制による競争力の強化を推進いたしました。

この結果、当社グループの業績は、売上収益は440,082百万円(前年同期比29.4%増)、事業利益は30,088百万円(前年同期は2,309百万円の損失)、営業利益は28,576百万円(前年同期は2,974百万円の損失)となり、税金費用を計上した後の最終的な親会社の所有者に帰属する四半期利益は20,501百万円(前年同期は9,341百万円の損失)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(タイヤ事業)

タイヤ事業の売上収益は、369,289百万円(前年同期比27.0%増)、事業利益は23,477百万円(前年同期は895百万円の損失)となりました。

国内新車用タイヤは、世界的な半導体不足の影響等により自動車メーカーの生産台数が減少したことなどの影響

はありましたが、前年第2四半期に新型コロナウイルス感染症の影響で販売が落ち込んだこともあり、売上収益は前年同期を上回りました。

国内市販用タイヤは昨年発売した「VEURO VE304 (ビューロ ブイイー サンマルヨン)」をはじめとする「ダンロップ」ブランドの低燃費タイヤ、また、気候に左右されにくいオールシーズンタイヤ「ALL SEASON MAXX AS1 (オールシーズンマックス エーエスワン)」などの拡販に努めた結果、前年より販売を伸ばすことができ、売上収益は前年同期を上回りました。

海外新車用タイヤは、世界的な半導体不足の影響が各国の自動車生産に出始めている一方で、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復傾向が見られたことにより販売を伸ばすことができ、売上収益は前年同期を上回りました。

海外市販用タイヤは、アジア・大洋州地域では経済回復が見られる中国を中心に販売を伸ばしました。欧州・アフリカ地域においては市況回復を受け拡販を進めました。米州地域においては特に北米で輸送コンテナの需給逼迫による輸入品の到着遅延等の影響があったもののSUV用タイヤを中心にセルアウトは好調で、ワイルドピークシリーズなどの高機能商品を含め販売を伸ばすことができました。

以上の結果、タイヤ事業の売上収益は前年同期を上回り、事業利益についても増益となりました。

(スポーツ事業)

スポーツ事業の売上収益は、51,439百万円(前年同期比72.4%増)、事業利益は5,518百万円(前年同期は2,902百万円の損失)となりました。

ゴルフ用品は各主要市場にて新型コロナウイルス感染症に伴う市場縮小に反転が見られた結果、北米や韓国を中心に販売を伸ばし、売上収益は前年同期を上回りました。

また、テニス用品も同様に、売上収益は前年同期を上回りました。

ウェルネス事業では新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言の発出等の影響はあったものの、売上収益は前年同期を上回りました。

以上の結果、スポーツ事業の売上収益は前年同期を上回り、事業利益についても増益となりました。

(産業品他事業)

産業品他事業の売上収益は、19,354百万円(前年同期比0.1%減)、事業利益は1,069百万円(前年同期比27.3%減)となりました。

インフラ系商材での大型物件の減少や制振ダンパーの受注減の一方、衛生用品であるゴム手袋や医療用精密ゴム部品は受注増加による販売増となりました。

以上の結果、産業品他事業の売上収益は前年同期をわずかながら下回り、事業利益については量構成の変化もあり減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間	増減
	百万円	百万円	百万円
資産合計	974,805	1,016,049	41,244
資本合計	467,097	502,128	35,031
親会社の所有者に 帰属する持分	454,743	488,226	33,483
親会社所有者帰属 持分比率(%)	46.6	48.1	1.5
1株当たり親会社 所有者帰属持分	1,729円05銭	1,856円39銭	127円34銭

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は次のとおりであります。

資産合計は、季節要因による営業債権及びその他の債権の減少があったものの、棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べて41,244百万円増加し、1,016,049百万円となりました。

負債合計は、有利子負債の増加などにより、前連結会計年度末に比べて6,213百万円増加し、513,921百万円となりました。

また、当第2四半期連結会計期間末の資本合計は502,128百万円と、前連結会計年度末に比べて35,031百万円増

加し、うち親会社の所有者に帰属する持分は488,226百万円、非支配持分は13,902百万円となりました。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は48.1%、1株当たり親会社所有者帰属持分は1,856円39銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月第2四半期連結累計期間につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として不透明な経済状況にあるものの、タイヤ事業では経費増加の抑制に加え、原材料の価格高騰等に応じた販売価格の見直しをすすめたことやスポーツ事業では北米や韓国を中心にゴルフ用品販売好調が寄与し、売上収益、事業利益、営業利益及び親会社の所有者に帰属する四半期利益のいずれも前回発表予想を上回ることとなりました。通期連結業績予想につきましても、最近の業績動向を踏まえ、前回発表時の予想を次のとおり修正しております。

通期 (2021年1月1日～2021年12月31日)

	今回予想	前回発表予想	増減	増減率	(ご参考) 前期実績
	百万円	百万円	百万円	%	百万円
売上収益	930,000	910,000	20,000	2.2	790,817
タイヤ事業	794,000	779,000	15,000	1.9	679,860
スポーツ事業	95,000	86,500	8,500	9.8	70,257
産業品他事業	41,000	44,500	△3,500	△7.9	40,700
事業利益	55,000	50,000	5,000	10.0	43,388
タイヤ事業	46,500	43,000	3,500	8.1	40,949
スポーツ事業	6,000	3,500	2,500	71.4	△741
産業品他事業	2,500	3,500	△1,000	△28.6	3,186
調整額	—	—	—	—	△6
営業利益	52,000	47,000	5,000	10.6	38,701
親会社の所有者に 帰属する当期利益	35,500	33,000	2,500	7.6	22,596

為替レート的前提

	今回予想	前回発表予想	増減	(ご参考) 前期実績
1米ドル当たり	109円	108円	1円	107円
1ユーロ当たり	130円	129円	1円	122円

上記の予想は、発表日現在において当社及び当社グループが入手可能な情報から得られた判断に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く様々な要因の変化により、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	74,203	79,334
営業債権及びその他の債権	179,635	164,878
その他の金融資産	1,399	4,645
棚卸資産	151,253	189,687
その他の流動資産	30,162	32,762
流動資産合計	436,652	471,306
非流動資産		
有形固定資産	389,184	388,562
のれん	23,378	25,464
無形資産	41,402	41,996
持分法で会計処理されている投資	4,323	4,381
その他の金融資産	33,159	36,953
退職給付に係る資産	32,451	32,901
繰延税金資産	13,449	13,650
その他の非流動資産	807	836
非流動資産合計	538,153	544,743
資産合計	974,805	1,016,049

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	62,256	70,863
営業債務及びその他の債務	123,261	118,903
その他の金融負債	12,816	12,472
未払法人所得税	7,790	7,076
引当金	1,170	1,740
その他の流動負債	38,835	41,412
流動負債合計	246,128	252,466
非流動負債		
社債及び借入金	155,177	153,506
その他の金融負債	48,164	47,531
退職給付に係る負債	22,202	22,992
引当金	2,189	1,600
繰延税金負債	11,282	12,949
その他の非流動負債	22,566	22,877
非流動負債合計	261,580	261,455
負債合計	507,708	513,921
資本		
資本金	42,658	42,658
資本剰余金	39,486	39,486
利益剰余金	461,720	473,029
自己株式	△77	△82
その他の資本の構成要素	△89,044	△66,865
親会社の所有者に帰属する持分合計	454,743	488,226
非支配持分	12,354	13,902
資本合計	467,097	502,128
負債及び資本合計	974,805	1,016,049

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上収益	340,038	440,082
売上原価	△250,089	△308,502
売上総利益	89,949	131,580
販売費及び一般管理費	△92,258	△101,492
事業利益又は事業損失 (△)	△2,309	30,088
その他の収益	1,394	797
その他の費用	△2,059	△2,309
営業利益又は営業損失 (△)	△2,974	28,576
金融収益	718	2,855
金融費用	△8,340	△1,540
持分法による投資利益	70	57
税引前四半期利益又は税引前四半期損失 (△)	△10,526	29,948
法人所得税費用	1,025	△8,490
四半期利益又は四半期損失 (△)	△9,501	21,458
四半期利益又は四半期損失 (△) の帰属		
親会社の所有者	△9,341	20,501
非支配持分	△160	957
四半期利益又は四半期損失 (△)	△9,501	21,458
1株当たり四半期利益又は		
1株当たり四半期損失 (△)		
基本的1株当たり四半期利益又は		
基本的1株当たり四半期損失 (△) (円)	△35.52	77.95

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期利益又は四半期損失 (△)	△9,501	21,458
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△2,004	2,150
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	26	67
在外営業活動体の換算差額	△24,947	20,175
税引後その他の包括利益	△26,925	22,392
四半期包括利益	△36,426	43,850
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△35,533	42,693
非支配持分	△893	1,157
四半期包括利益	△36,426	43,850

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2020年1月1日時点の残高	42,658	39,486	444,783	△75	△76,471	△278
四半期損失(△)			△9,341			
その他の包括利益					△24,214	26
四半期包括利益合計	—	—	△9,341	—	△24,214	26
自己株式の取得				△1		
自己株式の処分		△0		0		
配当金			△7,890			
連結子会社の増資による持分の増減						
利益剰余金への振替			△14			
資本剰余金への振替		0	△0			
所有者との取引額合計	—	△0	△7,904	△1	—	—
2020年6月30日時点の残高	42,658	39,486	427,538	△76	△100,685	△252

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計			
2020年1月1日時点の残高	10,697	—	△66,052	460,800	14,737	475,537
四半期損失(△)			—	△9,341	△160	△9,501
その他の包括利益	△2,004		△26,192	△26,192	△733	△26,925
四半期包括利益合計	△2,004	—	△26,192	△35,533	△893	△36,426
自己株式の取得			—	△1		△1
自己株式の処分			—	0		0
配当金			—	△7,890	△1,592	△9,482
連結子会社の増資による持分の増減			—	—		—
利益剰余金への振替	14		14	—		—
資本剰余金への振替			—	—		—
所有者との取引額合計	14	—	14	△7,891	△1,592	△9,483
2020年6月30日時点の残高	8,707	—	△92,230	417,376	12,252	429,628

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2021年1月1日時点の残高	42,658	39,486	461,720	△77	△99,270	△241
四半期利益			20,501			
その他の包括利益					19,975	67
四半期包括利益合計	—	—	20,501	—	19,975	67
自己株式の取得				△5		
自己株式の処分						
配当金			△9,205			
連結子会社の増資による持分の増減						
利益剰余金への振替			13			
資本剰余金への振替						
所有者との取引額合計	—	—	△9,192	△5	—	—
2021年6月30日時点の残高	42,658	39,486	473,029	△82	△79,295	△174

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計			
2021年1月1日時点の残高	10,467	—	△89,044	454,743	12,354	467,097
四半期利益			—	20,501	957	21,458
その他の包括利益	2,150		22,192	22,192	200	22,392
四半期包括利益合計	2,150	—	22,192	42,693	1,157	43,850
自己株式の取得			—	△5		△5
自己株式の処分			—	—		—
配当金			—	△9,205	△934	△10,139
連結子会社の増資による持分の増減			—	—	1,325	1,325
利益剰余金への振替	△13		△13	—		—
資本剰余金への振替			—	—		—
所有者との取引額合計	△13	—	△13	△9,210	391	△8,819
2021年6月30日時点の残高	12,604	—	△66,865	488,226	13,902	502,128

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益又は税引前四半期損失 (△)	△10,526	29,948
減価償却費及び償却費	33,894	34,233
受取利息及び受取配当金	△718	△825
支払利息	2,132	1,540
持分法による投資損益 (△は益)	△70	△57
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,039	△32,309
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	52,541	20,497
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△41,042	△3,024
その他	5,250	△815
小計	35,422	49,188
利息の受取額	412	434
配当金の受取額	295	393
利息の支払額	△2,000	△1,449
法人所得税の支払額	△5,972	△8,648
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,157	39,918
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△23,486	△23,065
有形固定資産の売却による収入	195	196
無形資産の取得による支出	△1,857	△2,070
事業譲受による支出	—	△273
その他	△300	△1,236
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,448	△26,448
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	17,630	24,382
社債の発行及び長期借入による収入	39,446	—
社債償還及び長期借入金の返済による支出	△12,620	△20,499
リース負債の返済による支出	△6,702	△6,267
非支配持分からの払込による収入	—	1,325
配当金の支払額	△7,890	△9,199
非支配持分への配当金の支払額	△1,592	△934
その他	△0	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	28,272	△11,198
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,271	2,859
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	27,710	5,131
現金及び現金同等物の期首残高	60,631	74,203
現金及び現金同等物の四半期末残高	88,341	79,334

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関である取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、タイヤ事業、スポーツ事業及び産業品他事業の3つの事業を基礎として組織が構成されており、各事業単位で、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、「タイヤ事業」「スポーツ事業」「産業品他事業」を報告セグメントに分類しております。

各報告セグメントに属する主要な製品・サービス又は事業内容は、次のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品・サービス又は事業内容
タイヤ	タイヤ・チューブ（自動車用、建設車両用、産業車両用、レース・ラリー用、 モーターサイクル用等） オートモーティブ事業（パンク応急修理剤、空気圧警報装置等）
スポーツ	スポーツ用品（ゴルフクラブ、ゴルフボール、その他ゴルフ用品、テニス用品等）、 ゴルフトーナメント運営、 ゴルフスクール・テニススクール運営、 フィットネス事業、他
産業品他	高機能ゴム事業（制振ダンパー、OA機器用精密ゴム、医療用精密ゴム等） 生活用品事業（炊事・作業用手袋、車椅子用スロープ等） インフラ事業（防舷材、工場用・スポーツ施設用各種床材等）

2. 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

セグメント間売上収益は市場価格等を考慮した仕切価格に基づいております。

報告セグメントの数値は事業利益ベースの数値であります。

報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報は次のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注2)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	タイヤ	スポーツ	産業品他			
外部顧客からの売上収益	290,845	29,829	19,364	340,038	—	340,038
セグメント間売上収益	483	75	433	991	△991	—
合計	291,328	29,904	19,797	341,029	△991	340,038
セグメント利益又は セグメント損失(△) (事業利益又は 事業損失(△)) (注1)	△895	△2,902	1,472	△2,325	16	△2,309
その他の収益及び費用						△665
営業損失(△)						△2,974

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△) (事業利益又は事業損失(△)) は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△) の調整額は、セグメント間取引消去等が含まれております。

当第2四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注2)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	タイヤ	スポーツ	産業品他			
外部顧客からの売上収益	369,289	51,439	19,354	440,082	—	440,082
セグメント間売上収益	450	85	480	1,015	△1,015	—
合計	369,739	51,524	19,834	441,097	△1,015	440,082
セグメント利益 (事業利益) (注1)	23,477	5,518	1,069	30,064	24	30,088
その他の収益及び費用						△1,512
営業利益						28,576

(注) 1 セグメント利益(事業利益) は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等が含まれております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。